

聖書箇所：マタイの福音書 18章 21節～35節

◆今日のみことば

イエスは言われた。「七度まで、などとはわたしは言いません。七度を七十倍するまでと言います。」
マタイの福音書 18章 22節

◆メッセージ

だれかがあなたにひどいことをして「ごめんなさい」と言ってきたとき、あなたは何回まで赦すでしょうか？ ペテロはだいぶがんばって「7回まででしょうか？」と聞いたのですが、イエスさまは「七度を70倍するまで」とおっしゃいました。それは7×70で490回という意味でしょうか？ 違いますね。だいたい、何回ゆるしたか数えているなんて、ほんとうには赦していないということでしょう。イエスさまがおっしゃりたいのは、何回でも、無限に赦しなさいということなのです。そのことがわかるように、イエスさまは今日のたとえ話をしてくださいました。



1万タラントは今のお金にすれば数千億円になりますが、見当もつかないほどたくさんのお金を表します。100デナリは、まあ100万円といったところです。それも結構な額ですが、おとなの人なら稼ぐことができるお金です。その違いは、大きなお家一軒分と100円の違いくらいとも言えます。このお話の家来は、とんでもない額の借金を免除してもらいました。ところが、少しばかりのお金を貸した友だちが「お金を返すのを、もう少し待ってほしい」と頼んだのに、聞いてあげなかったばかりか、牢屋に入れてしまったというのです。どうして、こんなひどいことができるのでしょうか。自分がどれだけ赦してもらったのか、全くわかっていないからです。

実は、神さまと私たちが、そして私たちに「ごめんなさい」と言う人は、このお話の王様と家来、家来の友だちを表しています。神さまは、ほんとうなら地獄へ行かなければならないはずの私たちの罪を全部赦してくださいました。王様が、自分が損をして借金を免除したように、神さまはご自分のほうのひとり子イエスさまのいのちを犠牲にして、私たちの罪を赦してくださいましたのです。そのことの意味がわかった人は、他の人に優しくなり、赦さないではいられないはずです。

イエスさまはここに、神さまの赦しを示すことで、私たちが赦し合ひ、愛し合うようにお教えくださいました。それが神さまの子どもたち、天の御国の民の考え方、生き方なのです。



◆お祈り

「イエスさまの十字架のゆえに、ゆるされていることを感謝します。私たちが、『ごめんなさい』と云ってくる人をやさしく、何度でも赦すことができますように。」
(軽井沢キリスト教会牧師 茂木幸雄)